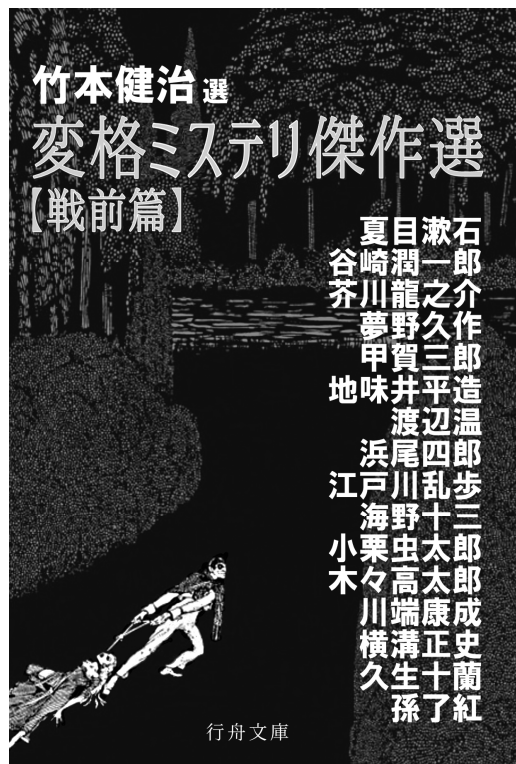




竹本健治・選 変格ミステリ傑作選【戦前篇】



定価:1000円+税 文庫判・並製 712頁

こんな
変
なミステリ
読んだことない!

大正から戦前期にかけて隆盛したミステリの一ジャンル「変格ミステリ」の代表的傑作短編十五編を作家・竹本健治の撰で集成したアンソロジー。選評・解説付きで同時代の大衆文化史の理解にも役立つ一冊。同時代に隣国・中国で花開いたミステリ文化を象徴する短編・孫了紅「真偽の間」と、中国での変格ミステリの受容史の解説も併録。SNS上での「変格ミステリ作家クラブ」会員作家による各作・作家への「偏愛コメント」も。

◎収録短編

夏目漱石「趣味の遺伝」、谷崎潤一郎「白昼鬼語」、芥川龍之介「藪の中」、夢野久作「侏儒」、甲賀三郎「黒衣を纏う人」、地味井平造「魔」、渡辺温「父を失う話」、浜尾四郎「殺された天一坊」、江戸川乱歩「目羅博士の不思議な犯罪」、海野十三「俘囚」、小栗虫太郎「失楽園殺人事件」、木々高太郎「網膜脈視症」、川端康成「散りぬるを」、横溝正史「蔵の中」、久生十蘭「海豹島」、孫了紅「真偽の間」(収録順)

◎編者略歴

一九五四年兵庫県生れ。佐賀県在住。中井英夫の推薦を受け、大学在学中に『匣の中の失楽』を探偵小説専門誌「幻影城」上で連載。デビュー作となった同書は三大奇書になぞらえ「第四の奇書」と呼ばれた。

ミステリ・SF・ホラーと作風は幅広く、代表作には『囲碁殺人事件』『将棋殺人事件』『トランプ殺人事件』の「ゲーム三部作」をはじめとする天才囲碁棋士・牧場智久を探偵役としたシリーズや、自身を含む実在の作家たちが登場するメタ小説「ウロボロス」シリーズなどがある。近著に大作『闇に用いる力学』。

稚氣と奇想に満ちた16の驚き！

注文締切は8月16日(月) 8月26日(木)取次搬入

注文FAX 092-982-3372

株)行舟文化 営業担当:張
〒813-0032 福岡県福岡市東区土井2-7-5
TEL. 092-982-8463 FAX. 092-982-3372
URL: <https://www.gyoshu.co.jp/>

貴店名(番線印)		日販さんの場合、委託期間外の返品は了解書が必要なので、FAXでご連絡ください。地方・小出版流通センター経由の場合、「地方小出版流通センターの川上了解済み」とメモを付けて返品いただければよいです。	
ご注文:	様	注文数	珠玉の16短編を収録 編者:竹本健治 変格ミステリ傑作選【戦前篇】 ISBN 978-4-909735-06-5 C0193 文庫判/並製/712頁 本体1000円+税
		冊	